



市として責任持った学童保育の計画を

全国学童保育連絡協議会は先今年度の学童保育の待機児童は全国で15506人、静岡県では867人と発表しました。保育ニーズに伴った施設整備が進んでいません。

掛川は「法律で定められた6年生までの受入は義務ではない、やれる範囲でやればよい」という姿勢で、「待機はない」とずっと言ってきました。松井前市長は学童に関しては「学校内で。放課後の普通教室も使えばいい。新設はしない。」「小学生に保育か、という思いがある。ボランティアの子ども教室の充実で事足りる」といった学童保育への後ろ向き姿勢が際立っていました。この間やっとプレハブでの新設を第一小、西山口小と始めたものの、小学校によって6年生までのニーズに答えられないのはおろか、低学年でさえも入りきれず、来年度の需要に追いつかない箇所がうまれそうです。見込みが甘いし、保護者要望や現場の指摘を長年ともに検討してこなかった市の責任は大きいと思います。

議会でも教育長が

学童を学校教育の補完であるかのような

発言をしましたが、学童保育は学校のおまけではありません。

働く子育て世代にとって無くてはならない保育施設です。きちんと方針を持ち、早急に計画を立てて対策を打つべきだと私は強く思います。



茶エンナーレプレ企画
夜空のランタンは幻想的

コロナ第8波への備えを

じわじわ感染が拡大しています。夏の教訓を生かし、備えがされているのか、とても心配です。

年末年始の医療体制がもっとも希薄になる時期も迫ってきています。検査や医療難民をうんではなりません。

◎西部保健所管内(掛川・磐田・袋井・菊川・御前崎・湖西・森町)コロナ感染者数

- 11/4~11/10 1469人
- 11/11~11/17 2156人(前週より1.47倍)

11月定例会で

補正予算可決される

11月定例会初日に国の臨時交付金を使った物価高騰対策が補正予算として可決されました。

①1・2月の水道料金全市民に一般家庭で2200円の基本料金が減免。事業所も口径にあわせて減免。

②福祉・介護事業所や保育施設に基準に応じて助成

③バス、タクシー、トラックなどの運輸事業への助成

④農業団体への肥料代補填

額は物価の高騰に見合うものはありませんが予算付けは歓迎です。水道料金の減免などは以前から共産党議員団が要望してきた事項です。

本日は国が消費税の減税を行なうことが一番だと考えます。

11月定例会

日本共産党

議員団の質問



◎会派代表質問

11/30(水) 13時

市民の命と健康を守るための
コロナ感染対策について

第7波の教訓を生かし、第8波への備えをどのようにするのか

市民要望を実現する市政運営に

市や国がやりたいデジタル化推進や、開発予算の前に、全世代の市民要望の実現を

◎一般質問 〈大井〉

12/2(金) 10時頃

再生可能エネルギーの適切な導入

風力発電施設設計画の残土処理問題
条例制定の内容

地域循環型経済の創出

住宅リフォーム助成、太陽光パネルの設置拡大策、報徳パワーの自己電源増

台風15号の

教訓に基づく防災対策

罹災時の提出書類の事前周知等